A top-down view of a desk with a laptop, a cup of coffee, a mouse, a notebook, and glasses. The background is a light teal color. The text is centered in white.

日立デジタルプロジェクト ～公式LINEでの情報発信～

目次

1. プロジェクトの概要・目的

2. 日立市の現状

3. アンケート結果

4. 考察

5. 提案、提案の効果

6. 今後の展望

7. 参考文献、取材協力

1. 提案内容の概要

日立市公式LINEの作成

～日立市の公式LINEが無い点に注目した提案～

公共施設・飲食店
の予約機能

お店の基本情報

観光地
特産品紹介

月ごとのイベント
カレンダー

方針

ボランティア
スタンプカード

行政・災害情報

高齢者見守り
サービス

目指す姿

日立市の魅力情報の
発信

ボランティアの増加

職員の業務効率化

1. その提案に至った大まかな理由

既存アプリの
認知度・使用率が
低い



アプリを利用している
人が少なく、代わりと
なるものが必要。

アプリと比べてLINE
の利用頻度が高い



ほぼ毎日開かれるアプリで
あり他のことについでに
日立市公式LINEを
見てもらうことが
期待できる。

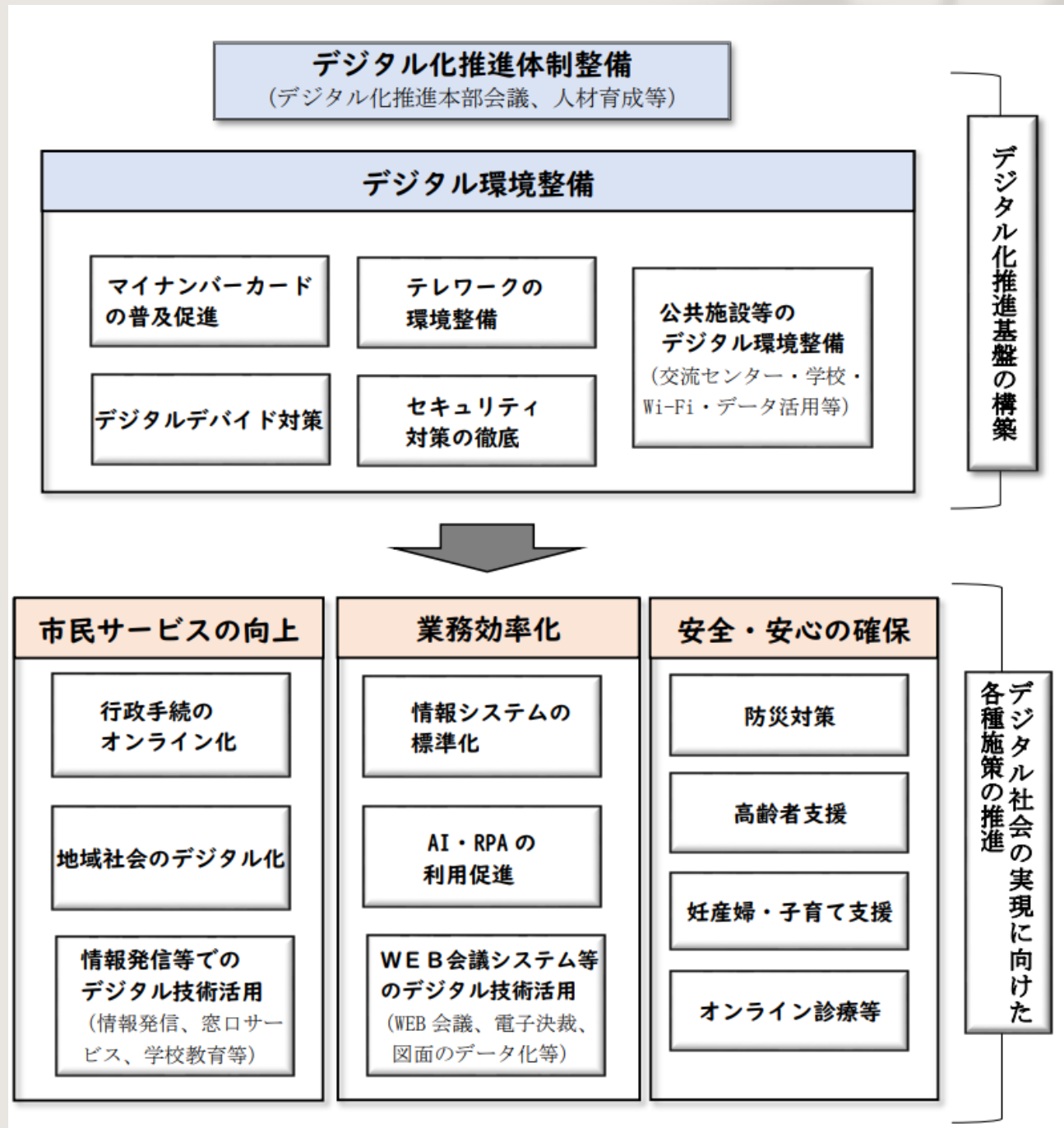
2. 日立市の現状

◆ 日立市デジタル推進計画2022

1. デジタル化推進体制整備
2. デジタル環境整備
3. 市民サービスの向上

1999年4月、市の公式ホームページを開設
各種SNSやスマートフォン向け
地域情報アプリ（ひたちナビ）

4. 業務効率化
5. 安心・安全の確保



2. 日立市の現状

◆ 日立市デジタル推進計画2022

➤ 地域情報アプリについて

日立市公式 地域情報アプリ 「ひたちナビ」

- ・ ゴミ分別早見表
- ・ ゴミカレンダー
- ・ ゴミ回収日通知
- ・ 防災情報
- ・ 防災無線確認
- ・ 避難所案内
- ・ 天気情報

その他の機能

- ・ 日立市内のイベント情報をお知らせします
- ・ 学校や図書館などの教育施設の情報を確認できます
- ・ 観光施設の情報を確認できます
- ・ 道路の危険箇所レポートを投稿、確認できます

大みか交流センター



課題（交流センター）

①後継者がいない。

→若者（大学生）にコミュニティに参加・認識してもらい、コミュニティを知ってもらいたい。

②独り身の高齢者の非常事態への対応が遅れる事

③交流センターで行っているイベントなどがわからない

→交流センターの情報発信ツールがほしい。

水木交流センター

課題（交流センター）

- ④交流センターは、高齢者のボランティアで成り立たせるは難しい。
➡そのため、交流センターに若者を呼びたい。
- ⑤交流センターの施設の利用者を増やしたい。
➡そのため、交流センターの予約を簡単にできるツールが欲しい。

3. アンケート結果

調査報告

対象 : 茨城県民（10代22人、20代80人、40代1名、50代2名）計105名

実施日時 : 2022年10月11日～2022年10月18日（一週間）

実施方法 : Microsoft Forms

調査内容 : 居住地域

LINEの利用状態・公式アプリの利用状態

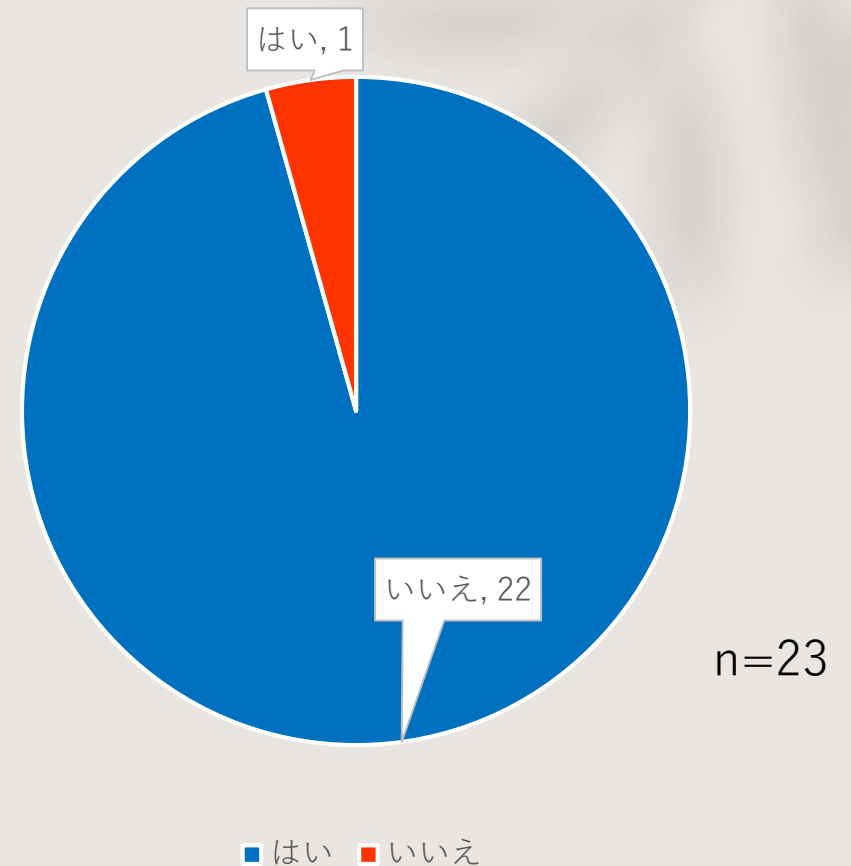


3. アンケート結果

- 回答者のうち日立市在住の人（23人）へアンケート
- 日立市の公式アプリを利用しているか

日立市民で日立市公式アプリを利用している人がほとんどいない

日立市公式アプリの利用



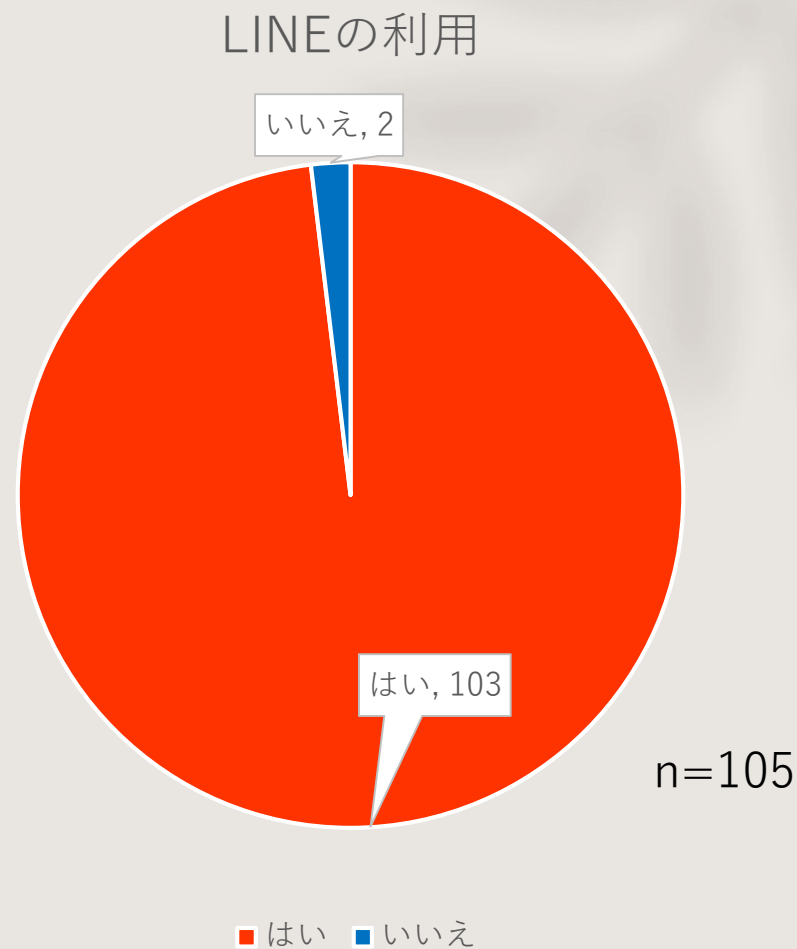
3. アンケート結果

- LINEの活用してありますか

はい . . . 98.1%

いいえ . . . 1.9%

ほとんどの人がLINEを利用している



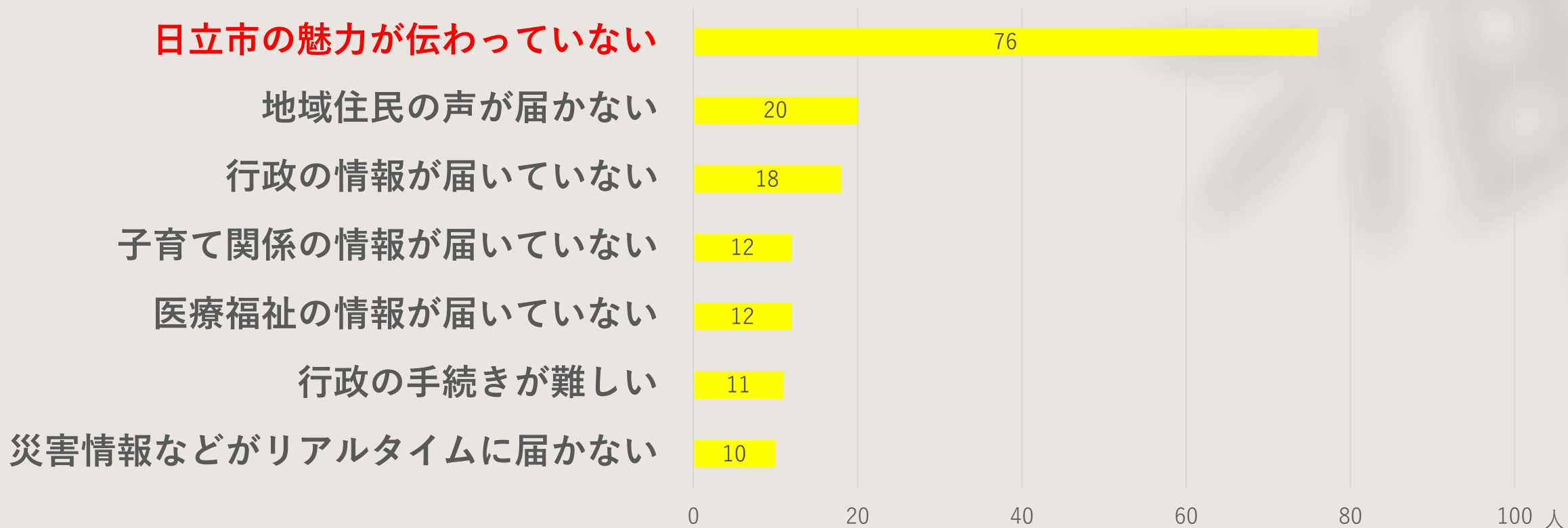
3. アンケート結果

日立市公式LINEに欲しい機能

- ・ 市内のイベント情報の配信
- ・ おすすめのお店や、人気の観光スポットなどの配信
- ・ 災害情報や避難情報、交通情報の配信
- ・ 行政手続きの案内（市役所の混雑状況などを掲示）

3. アンケート結果

日立市の課題だと思う事



・他にも、
・閑散としている
・渋滞
・若者の人口流出など挙げられていた

4. 考察

インタビュー結果から

意見

後継者不足の解決のため、日立市のコミュニティに若者を呼びたい

交流センターの利用者を増やしたい

日立市の情報発信の場が欲しい

独り身の高齢者の非常事態に迅速に対応したい



考察

何か若者に与えるインセンティブが必要

交流センターの情報発信ツールや予約を簡単にできるシステムを作るべき

多くの人の目につく媒体での情報発信が望ましい

見守りはアナログでは限界があるためデジタル化すべき

4. 考察

アンケート結果から

日立市公式アプリはあまり利用されていないがLINEの利用率は高い



比較的手軽で利用率の高いLINEを作成し、
補いきれない部分を公式アプリで補完する

LINEに欲しい機能として挙げたイベント情報や観光スポットの発信は
課題の魅力発信不足という部分をつぶすことが可能

5. 提案

日立市の公式LINE

公共施設
飲食店関連

観光地
特産品紹介

イベント情報

コミュニティ
関連

行政
災害情報

高齢者見守り
サービス

5. 提案

公共施設・飲食店関連

- ・ 基本情報(位置情報等)を載せる
- ・ 予約機能
- ・ 月に一度公共施設、飲食店の情報発信をする

<具体例>

- ・ 公共施設
 - ・ 交流センター
 - ・ シビックセンター
 - ・ 市民運動公園
 - ・ 公共体育館
- ・ 飲食店
 - ・ SEA BIRDS CAFE
 - ・ CAFE & DINING海音
 - ・ MAPLE CAFÉ

など

5. 提案

観光地など魅力紹介

- 季節ごとにそれに合った観光地の情報の発信を行う
- 観光地の基本情報、位置情報、イベント、豆知識など

<観光地具体例>

観光地

- かみね動物園：茨城県内唯一の動物園
- きららの里：日本一の長さを誇るスライダー
- ウミウ捕獲場：全国唯一の捕獲場
- 日立駅：世界的建築家妹島和世氏デザイン
- 大煙突：建設当時高さ世界一
- 日鉱記念館：日立市の歴史、産業史を学べる
- 日立シビックセンター：知的文化活動など多様に利用できる複合施設
- たかはら自然塾：廃校となった高原小学校をリニューアル
- 道の駅日立おさかなセンター

など

5. 提案

特産品など魅力紹介

- 季節ごとに、それに合った特産品の情報の発信を行う
- 特産品の購入可能な場所も掲載

<特産品具体例>

特産品

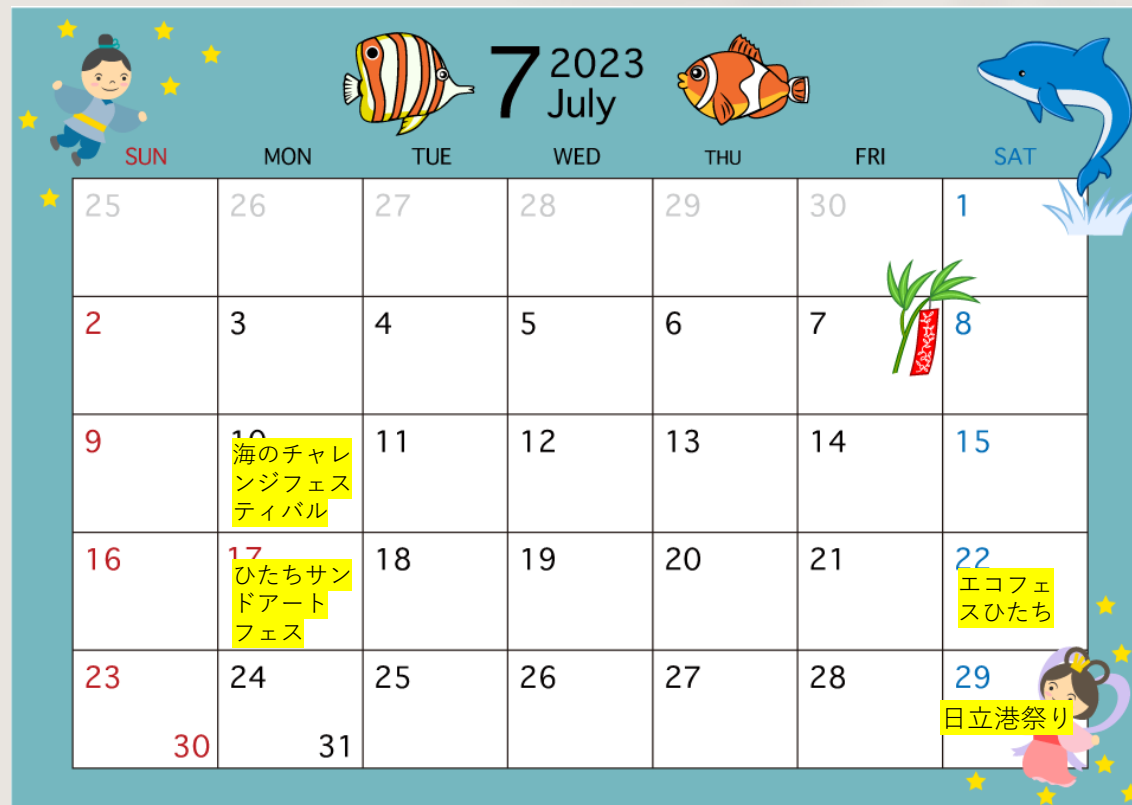
- さくらタコちま : 飛勘水産オリジナルちまき
- 茂宮かぼちゃパイ : 茂宮かぼちゃ使用のあんが特徴
- 鵜まいでしょ : ウミウ捕獲場の岬からの日の出がモチーフ
- かじめうどん : 日立産の海藻かじめが練りこまれている
- みそプリン : 隠し味に味噌を使用したプリン
- 大みか饅頭 : 地元民に愛されている郷土自慢の手土産
- むらさきいもアイスクリーム : 十王町のむらさきいもを使用
- あんこう : 茨城の冬の味覚。様々な料理に使われている
- 酒 (玉の雫、富士大観)
- 果実 (ぶどう、りんご、かぼちゃ)

など

5. 提案

イベント情報

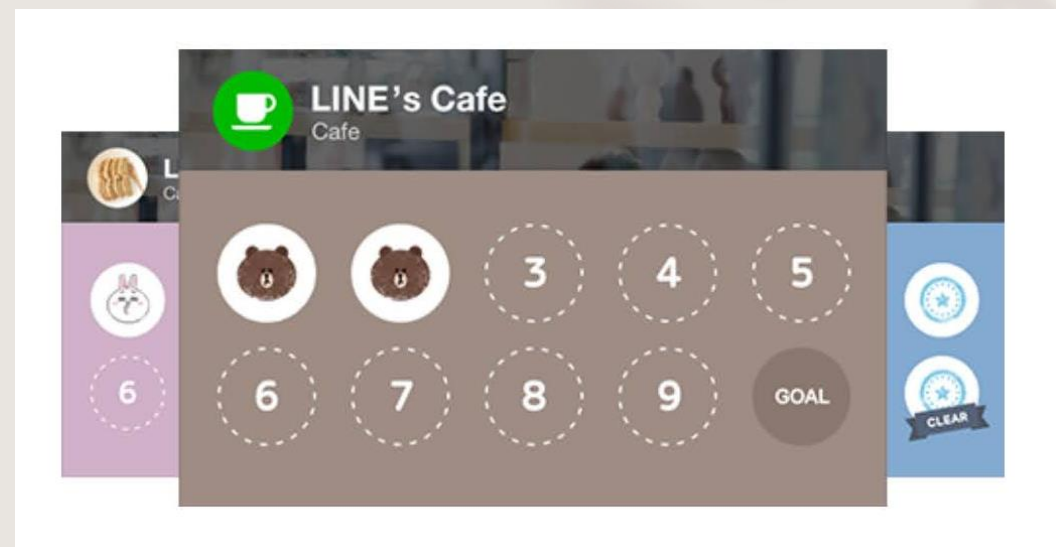
- ・ 日立市が行っているイベント情報を載せる
- ・ 月ごとにイベントカレンダーを更新する



5. 提案

コミュニティ関連

- ・公式LINEで
ボランティアを募る
➡ボランティアを
すると、ボランティア
カードのスタンプが貯まる



<ボランティアカード>

LINEのショッピングカード機能を活用！

景品…飲食店の割引券など

※キャッシュレス決済対応の店に限る

➡同時にキャッシュレス化推進

5. 提案

行政・災害情報

- ・ 行政に関する重要な情報を発信する
- ・ 大学と連携し、学生が地域課題解決に取り組んだ結果を共有する
- ・ 災害時には通知でお知らせする



学生プロジェクトでの実際の活動光景

5. 提案

高齢者見守りサービス

- ・ 家族が高齢者のGPS管理できるアプリ（後述）
→これの市バージョンを作る

< 詳細 >

1. GPSで動きが数日無い人に対して、LINEで生存確認のメッセージを送り、それに対して、既読や反応のない人には市役所や家族に連絡がいくシステム
2. これであれば、高齢者のフレイル防止にも役に立つ
3. もし、ラインのサービスのみで難しければ、他アプリの導入も検討

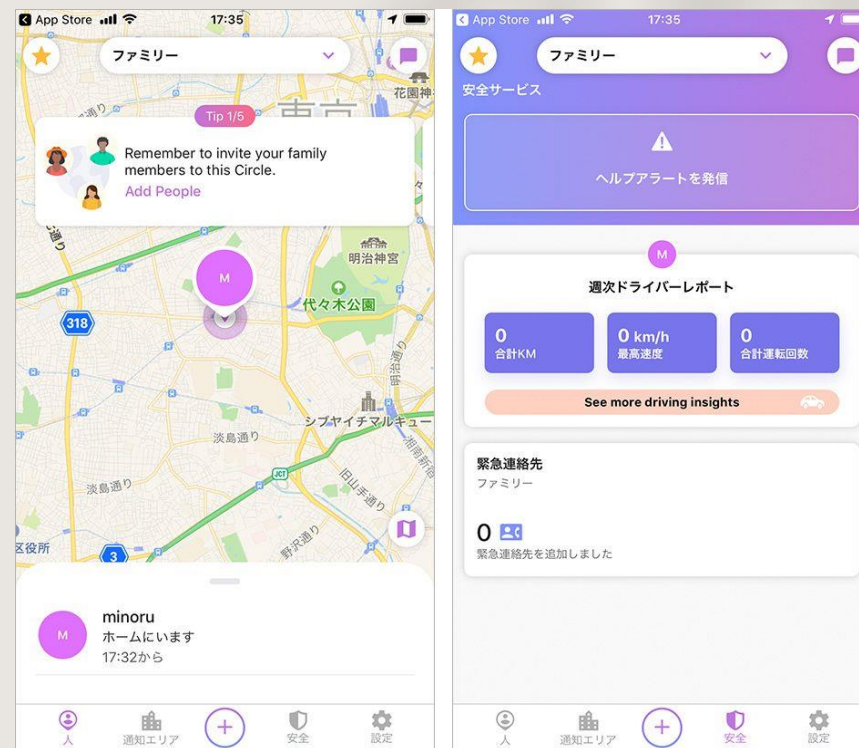
GPSを使った「見守りアプリ」の例

「Life360」

- ・ 家族それぞれのスマホの位置情報を共有できるアプリ
- ・ 緊急ボタン（ヘルプアラート）を押すと家族全員に位置情報が送信される緊急通知機能がついている



離れた所で暮らす高齢者の
「見守り」をすることが可能！



5. 提案の効果

公共施設・飲食店関連



- 公共施設や飲食店の情報が届く、予約が簡単になる
→ 公共施設の利用者が増える・飲食店が活性化する

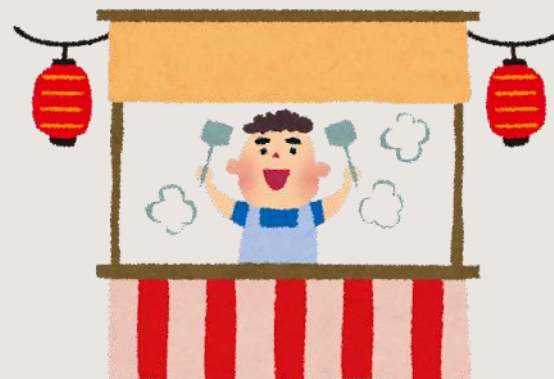
観光地・特産品紹介

- 観光地と特産品の魅力が伝わる



- 観光地と特産品の売り上げが増加し、経済効果が生まれる

5. 提案の効果



イベント情報

- イベント情報が届く
 ➡ イベントが活性化する・日立市を知ってもらおうきっかけに

コミュニティ関連

- ボランティアに参加する若者が増える
 ➡ 若者の地域コミュニティへの参加・ボランティアと交流センターを通じて全体的にコミュニティへの愛着度が増す

5. 提案の効果

行政・災害情報



- 行政情報、災害情報が届く
 - ➡ 行政情報に疎い若者にも情報が届きやすく、また大学との連携により若者目線での地域課題が見つかり、解決に繋がる
 - ➡ 災害時にもスムーズにお知らせできる

高齢者見守りサービス



- 訪問をせずに、毎日高齢者の安否確認ができる
 - ➡ 市の職員の業務効率化・孤独死、フレイルを防止できる

6. 今後の展望

1. 課題解決を伴う新たなイベントの創出



課題



高齢者がデジタル
に対応できるか

高齢者向けのデジタル学習イベント

- ・ 学生ボランティアを集う
- ・ 高齢者と学生が和気あいあいと交流できる

地域コミュニティ
活性化

公式LINEが
普及するか

公式LINE追加特典イベント

- ・ 出店する飲食店のメニューや地域特産物を試食できたり、お得に購入したりすることができる

飲食店や地域特産物の
魅力発信・向上

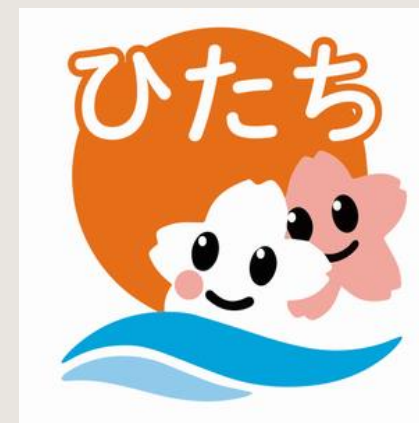
6. 今後の展望

2. 公式LINEを追加したくなるような特典

- ➡限定LINEスタンプ（例：日立市のゆるキャラ モルちゃん）
- ➡オリジナルLINE背景デザイン画像（例：かみね動物園の動物）

3. 既存アプリひたちナビとの連携

- ➡例：行政・災害情報の詳細はひたちナビに誘導



4. 普及率10－15%を目指す（2、3年後） ※熊本市の公式LINE普及率を参考

7. 参考文献、取材協力

日立市デジタル推進計画2022

https://www.city.hitachi.lg.jp/shisei/004/003/p104987_d/fil/HP_digital2022.pdf

見守りアプリ・サービスの紹介

[離れて暮らす家族がお互いにストレスなく安否確認 『見守りアプリ・サービス』を紹介 | KDDI トビラ](#)

取材協力

大みか交流センター様

水木交流センター様

ご清聴ありがとうございました